



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』2016年春号 No. **20**

〒343-0046越谷市弥栄町4-1-120

TEL/ FAX048-978-3335

Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

治水対策一歩前進! 新方川の堤防嵩上げ決定!

平成28年4月14日から発生している熊本地震により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして皆様の安全と一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

この熊本地震で改めて災害の怖さを感じたところですが、越谷における災害の代表格である水害、そしていつ発生してもおかしくない首都圏での直下型地震への対応など、改めて行政の防災体制をチェックしていきたいと思えます。

3月定例議会 代表質問より

平成28年3月定例議会の代表質問では、個人そして会派でも積極的に取り組んでいる治水対策について質問しました。現在、治水対策の根本的問題は集中豪雨の際、排水ポンプで内水を新方川にくみ上げる水量に制限があるということでした。この度埼玉県で新方川浸水被害緊急対策事業の予算が可決されたため、この問題の改善にむけた大きな一歩となります。そこで県の事業の内容、そして越谷市の今後の役割について市長に質問しました。

【事業の概要】

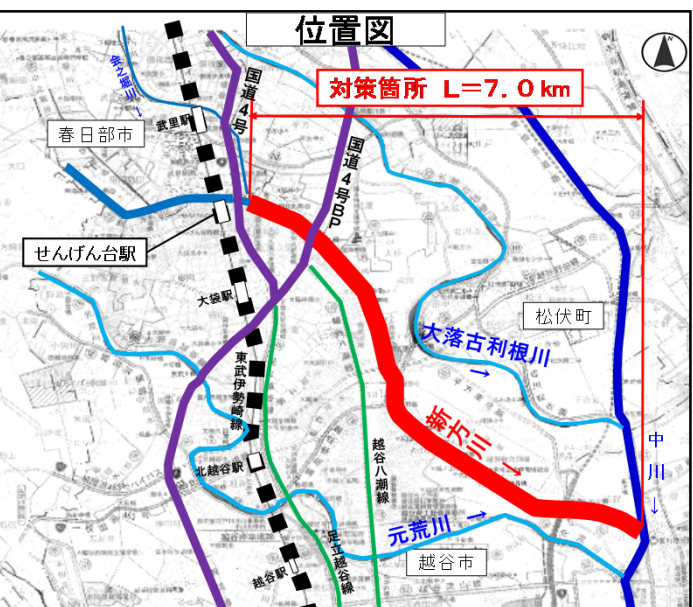
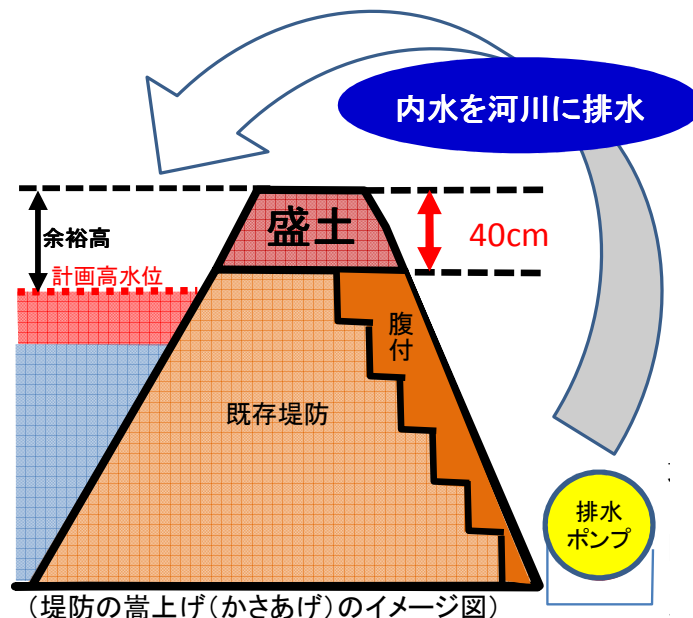
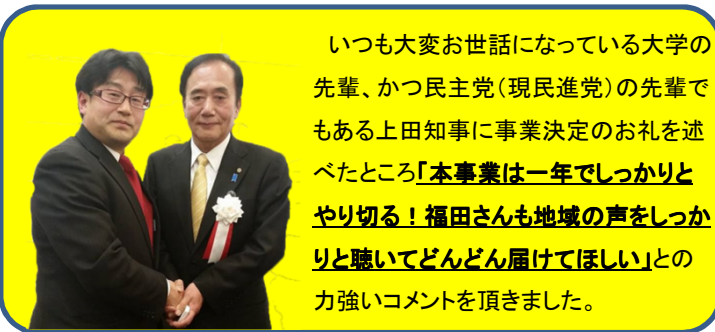
越谷市の排水施設から新方川への排水量を増加させるため、中川との合流点から上流7kmについて、緊急的に堤防の嵩上げなどの工事を実施する。(右記位置図の赤い部分) **期間は1年、予算は10億円。**

【越谷市の役割】

排水ポンプの増強や設置が越谷市の役割となる。 県と連携して取り組んでいく。

【その他提案】

嵩上げに合わせての**緑道整備について提案**をしました。



(位置図:対象河川の場合(赤色の部分))

3月定例議会 代表質問より(続き)

⇒中核市の実績を確認

中核市に移行して1年が経過しました。そこで移譲された事務において実績を確認させて頂きました。

行政事務区分	移譲された主な事務等	実績件数
保健衛生行政	飲食店等の食品営業許可	1230
	食品営業施設等の監視	1695
	病院等の開設・使用等の許可	65
	感染症予防法に基づく発生届け	78
	結核医療費公費負担診査	143
	精神保健相談	1908
	理・美容所の確認・変更等届け	129
民生行政	身体障害者手帳交付(交付までの期間約60日が約20日に短縮)	671
	母子父子寡婦福祉資金相談	310
	母子父子寡婦福祉資金貸付申請	17
環境行政	産業廃棄物処理施設、収集運搬業関係	34
	産業廃棄物等関係監視、指導	344
都市計画・建設行政	屋外広告業登録	393
文教行政	初任者、5年、10年、20年研修	139
消防行政	高度救助隊 救助出動実績	66
包括外部監査	指定管理者制度に係る財務の執行を監査	-

3月定例議会 一般議案より

⇒特別職給与・報酬改定議案可決

本議案は市の特別職、市長、副市長、教育長、常勤監査委員、市議会議員の給与・報酬を月額約3万~6万をあげるというものです。特別職の給与・報酬は、公平な観点からの判断が必要なため、毎年開催される特別職報酬等審議会(第三者機関的存在)によって方向性が提示されます。審議会の会議録や答申を確認し丁寧に会派で議論した結果、中核市に伴う業務範囲や責任範囲の拡大、他自治体と比較しての妥当性、財政配慮等、しっかりと審議会で議論されていたこともあり、賛成をしました。また私は、本議案を判断する際に、事前に3回の市政報告会等にて約100人の方に意見をお聞きし検討するうえでの重要な判断基準とさせて頂きました。市の財政は厳しい状況ですが、今まで以上に議員活動に邁進していきます。

福田あきら(40歳)プロフィール

【所属会派】民主党と無所属の会

【常任委員会】総務常任委員会

【その他役割】越谷市監査委員

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
1982年清浄院幼稚園卒園
1988年越谷市立桜井南小学校卒業
1991年越谷市立越谷北中学校卒業
1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
1998年法政大学法学部法律学科卒業
2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
2011年越谷市議会選挙初当選 2015年2期目当選

- 資格 基本情報技術者/宅地建物取引士等
- 家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
- サッカー選手としての経歴
- ・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
- ・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】
- ・全国社会人サッカー選手権大会優勝
- 福島/広島国民体育大会(国体)サッカー優勝
- など**三度の日本一を経験**
- ・現在、**越谷市サッカー協会副会長**を拝命



日々情報発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方のみ対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させて頂きます。

3月定例議会 予算特別委員会から

平成28年度予算、一般会計 88,400,000千円、特別会計(9会計) 71,565,000千円 病院事業会計 11,744,000千円が可決されました。数多くの議案がある中で、私が取り組んでいる政策やまた多くの市民相談があるものなど、特に注目している議案を下記に上げました。事業が成功するよう、継続して注視していきたいと思ひます。(赤字事業は右ページ参照)

事業名称	予算(千円)	事業概要
本庁舎建設事業	15,000	市本庁舎を建替えにより耐震化するため、平成28・29年度の2か年で建設に係る基本設計を行う。
公共施設等 総合管理事業	2,700	公共施設等総合管理計画の着実な推進を図るため、老朽化した施設の方向性を示した個別施設計画や総合管理計画で掲げた基本方針に対する方策を定めたアクションプランを策定する。
空き家等 適正管理事業	300	越谷市空き家等の適正管理に関する条例及び空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、管理不全な空き家等に対し必要な措置を行う。
災害予防対策事業	47,821	災害予防対策として、防災知識啓発、防災訓練、備蓄資器材整備、防災行政無線管理、避難場所照明灯維持管理、防災気象情報取得等を実施する。
児童発達 支援センター運営費	42,360	心身の発達に支援を必要とする就学前の児童に、日常生活で必要な基本的動作の指導や知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行い、健全な心身の発達を促進する。また支援を必要とする児童や保護者に対して、発達に関する相談や指導・助言を行い、子育てに関する不安や負担の軽減を図る。
生活保護扶助費	6,300,000	生活保護制度は、生活に困窮する方々に対し、最低限度の生活を保障すると同時に、一日でも早い生活の立て直し(自立)を援助するもので、それぞれ必要な扶助を行う。 被保護者数(平成27年度10月末現在 停止中も含む) ・被保護者世帯数 2,875世帯 ・被保護者数 3,997人
母子健康づくり事業	12,980	妊産婦及び乳幼児の保護者に対し、講座や教室を通して妊婦、出産、育児に関する正しい知識の普及を図る。あわせて、地域における仲間づくりや父親の育児参加を支援する。また、乳児全戸訪問及び産後の支援の充実により、妊婦出産を通じ継続した支援を行い、育児不安の解消や子育ての孤独感の軽減を図り、母子の健康づくりを推進する。さらに、未熟児養育事業を実施し、未熟児への支援を充実する。
精神保健支援事業	1,470	精神保健に係る正しい知識を普及し、適切な支援を行うことにより、市民のこころの健康の保持、増進を図る。 1. 精神保健相談 2. 精神保健家族教室 3. 自殺対策
農地利用集積事業	48,060	集団的な優良農地を有する地域を中心に、認定農業者の担い手への農地の利用集積を進め、農地の保全利活用を図る。(特に船渡市区で推進)
流通・工業系 土地利用事業	10,000	企業立地の促進や住工混在の解消、雇用機会の拡大を図るとともに、地域産業の育成や地域経済の活性化を促進するため既存工業団地の拡張など新たな産業用地の創設に向けた調査・検討を行う。
道の駅整備事業	8,000	道路利用者へのサービス向上と地域の活性化に資するとともに、災害時の防災機能を備えるなど、多面的要素を持つ道の駅の整備に向けた調査を行う。 平成28年度の主な取り組み 基礎調査業務委託
平新川改修事業	70,000	平新川流域の浸水被害の軽減を図るため、護岸のかさ上げ等の回収を行う。 平成28年度の主な取り組み かさ上げ工事 800m
公共交通事業	3,844	平成27年度に策定した越谷市地域公共交通網形成計画に基づき、利便性が高く持続可能な公共交通網の形成を図るため、引き続き、交通事業者や公募市民、学識経験者などから構成する越谷市地域公共交通協議会を開催する。
川柳大成町線 整備事業	263,010	越谷レイクタウン特定土地地区画整理事業地区とのアクセス道路として、都市計画道路川柳大成町線の延伸を図る 平成28年度の主な取り組み 用地買収 1,011㎡
八潮越谷線 整備事業	45,700	埼玉県が施行する街路事業に係る負担金
教育相談事業	60,730	不登校、いじめ、ことばや発達の遅れ、就学等の諸問題について、保護者や児童生徒への専門的な相談活動及び訪問相談を行うとともに、教育相談に関する教職員の研修を行い、カウンセリング技術の向上を図る。また、適応指導教室「おあしす」を運営を通じて、不登校児童生徒の自立と学校生活への復帰を支援する。
小学校施設改修費 (トイレ改修工事費)	183,800 (10,000)	市内小学校30校の施設・設備について、経年による老朽化で施設・整備の機能が低下している状況を改善するため緊急性の高いところから計画的に老朽化所を改善し、施設・整備の機能維持及び延命化を図るとともに、児童・教職員が安心して学生生活を送ることができる環境を確保する。
空調整備設置事業	18,200	市内小学校30校の普通教室等へのエアコン設置及び既存エアコン更新に向け、「民間資金活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づき、PFI事業者の決定等、各種手続きを行う。

本庁舎建設事業

熊本地震から越谷市役所本庁舎の耐震化を再考する。

熊本地震では、災害対応の拠点となる自治体の庁舎や病院に深刻な被害が出ているとの報道がされています。4月24日の日本経済新聞の記事を確認すると、5市町村の庁舎が半壊などで使えなくなり、医療機関も47施設で運営に支障が生じている。財政難からなどから耐震性の強化が遅れ、被害が大きくなった面もあると記載されています。
庁舎の倒壊は、市民・職員に多くの被害を出すとともに、災害対策拠点として利用できなければ、初動や対応活動そのものに支障をきたします。また住民サービスの復旧も遅れるなど、その影響は甚大です。また大震災の際、病院施設が使えず、負傷者を受け入れることが出来なければ多くの命を守ることができず、その影響はあまりにも大きいものとなります。宇土市役所の例を確認します。16日未明の本震で5階建て市役所庁舎の4階が押しつぶされて半壊状態に。庁舎は築50年以上で2003年に「震度6強以上で倒壊の恐れがある」と診断されていたが、財政難で先送り。建て替えの検討を始める矢先であったとのこと。一方で越谷市は、「本庁舎の構造耐震指数(Is値)が0.111と極めて低く、大規模地震の際には倒壊または崩壊の可能性が高い」と言われています。(補足)耐震改修促進法で必要としているIs値は0.6以上。また業界機関の解説によると、市役所など災害対策の拠点となる公共施設は0.9以上が求められる。



(医療の中心となる越谷市立病院)



(建て替えが必要な越谷市役所本庁舎)

そんな中、越谷市では、平成25年4月に本庁舎審議会を設置し(私も審議員として参加)、その後その答申を基に越谷市本庁舎建設基本計画が策定されました。当初2020年の完成を目標にしていた本庁舎の建て替えですが、現在、財政の考慮から基本計画に完成時期は明記されていません。(私は、常任委員会で基本設計(H28年~H29年)実施後、いち早く本庁舎の建て替えの時期にめどをつけるように質疑をし、執行部からは最善を尽くすとの答弁をもらっています)越谷市は、前年度より借金を増やさないという方針の下、財政運営を堅持しておりますので、多額の借金を伴う本庁舎の建て替えについての完成時期については難しい判断が必要となります。しかしこの度の熊本地震の事例や、首都圏直下型地震が数十年という単位で高い確率で発生することが予想されることから考えて、大幅な修正が必要かもしれません。また越谷市の医療の要となる市立病院は、耐震補強は実施済み、エネルギーセンター棟の強化などの対策も取られていますが、古い棟では建築されてから約40年が経っており、こちらも近いうちに検討が必要となってきます。災害対策と財政運営、難しい問題ではありますが、今後このあたりの議論が議会で活発になるはずですが、私もしっかりと勉強して考えていきたいと思ひます。

平新川改修事業

平成27年9月の台風18号を受け、平新川の護岸の嵩上げを実施。高さ約400mm~800mm 長さ約800m 下記参照



※地図:越谷市住まいるマップ

八潮越谷線整備事業

未開通期間であった西方工区について、県より土地権利者と用地取得の契約を締結したとの連絡があり。平成28年度内での開通を目指すとのこと。下記参照



※地図:越谷市住まいるマップ